

# もとぶ元気村で陶芸体験学習

# 成長・貢献・感謝



少人数クラスは8日(火)、本  
部町元気村や海洋博記念公園の校  
外体験学習に出かけました。  
午前中は陶芸体験。ひとり、牛  
乳パック1個分ぐらいの赤土が準  
備され、割とアバウトに作り方を  
レクチャーされた5名は、それぞ  
れのつくりたい形を追求していき  
ました。うさんはシーサー、他は  
コップと皿でした。約2時間の創  
作時間で全員が成形させ、サイ  
ンを刻んで終了。作品は十分乾燥  
させた後、約800℃で素焼きしま  
す。  
焼き物は素焼きの後に、釉薬  
(ゆうやく)をかけて1250℃  
前後で焼き上げます。



羽地中学校  
学校だより114号  
R1. 10. 18



終了後に素焼きまでとの  
説明があり、残念ながら  
コップの素焼きでは使え  
ません。水分を吸収・発  
散する素焼きはシーサー  
などの作品に向いていま  
す。素焼きが終わると、  
作者のもとへ返ってきます。  
久しぶりの土の感触を楽しみ、  
大学時代を思い出しました。退職  
したら、ロクロと電気窯を準備し  
て、焼き物づくりを再開してみたい。  
少人数チームは昼食後、海洋  
博記念公園の海洋文化館、プラネ  
タリウム、沖ちゃん劇場を楽しみ  
ましたとさ。

# 生活をつくる



1年生は、技術家庭科で本棚を  
製作しました。設計図を引き、材  
料を切り出して加工し、釘で固定  
してパーナーで表面を焼き、磨い  
てニスで仕上げる、この一連の過  
程を一人、もしくは友達と協力し  
ながら製作します。  
1年3組さんは、慣れない手つ  
きでクギを打ったり、横引き鋸を

縦引きで換えたりして、一生懸命  
製作していました。今回は、耐久  
性を高めたり、防虫・防菌のため  
にガスパーナーで表面を焦がす  
「焼き杉」処理も体験しました。  
生活に必要なものができるだけ  
自分でつくりたい、加工したりし  
て生活を楽しむ、生活を創る、男  
女DIYの時代です。10月後半  
から、男女共修で家庭科が始まり  
ます。K先生、調理実習よろしく  
お願いします。

